

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1291200200		
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター河原塚		
所在地	千葉県松戸市和名ヶ谷9-2		
自己評価作成日	平成23年11月30日	評価結果市町村受理日	平成24年1月27日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://kaigo.chibakenshakyo.com/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 日本ビジネスシステム		
所在地	千葉県市川市富浜3-8-8		
訪問調査日	平成23年12月16日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

毎日の散歩を通し、地域住民の方々と触れ合い、地域にとけ込めるよう努めていきます。また、入居者・スタッフ共に笑顔が溢れる明るいホームを目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

閑静な住宅街の中に、本年8月に開設された「ニチイケアセンター河原塚」がある。バリアフリーで十分な介助スペースが確保されていると共に、エレベーターが設置され、安全面に配慮した造りとなっている。職員全員が「誠意・誇り・情熱」の理念の下で一丸となり、希望とやる気を持って一生懸命に取り組んでいる。「入居者が安心して暮らせる笑顔で明るい施設」を目標に、笑顔で温かいサービスの提供に努めている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	開所時研修やステーション研修で基本理念を職員と共有し、実践につなげている。今後事業所の理念をスタッフと一緒に考えて決める予定です。	本年8月に出来た新しい事業所であり、法人の理念である「誠意・誇り・情熱」を基本として、職員全員が一丸となり温かいサービスの提供に努め、笑顔のあふれる明るいホーム作りを行っている。	職員の意見を取り入れた事業所独自の理念を作り上げ、地域と共に歩む事業所として、地域に浸透した施設作りを期待します。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会にはいっており、毎朝散歩を行い、地域の方々のご挨拶を行っている。	町内会に加入しており、施設開設時には、地域住民への説明会・見学会等を実施し、地域への理解促進を図っている。また、日頃から地域住民と挨拶を交わすと共に、随時、見学・相談を受け付けており、地域と密な関係が築かれている。その他にも、市の安心声かけ隊にも加入しており、地域高齢者への挨拶や声掛けに協力している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	松戸市あんしん一声運動オレンジ声かけ隊に登録し、研修に参加している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	10月15日第1回運営推進会議を行い、現在の状況報告や、今後の活動について話し合い、内容を掲示してサービスの向上に努めている。	市職員・自治会長・民生委員・家族・職員等を構成員として運営推進会議を開催し、施設の活動報告・意見や情報交換等を行っている。今後は2ヶ月に1回開催を目指し、地域との交流・施設への理解促進を図ると共に、サービスの質の向上に努めて行く。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市に定期的に訪問している。運営推進会議等を通じて交流を図り、情報を共有している。	市職員による訪問や運営推進会議を通じて、意見・情報交換を行っていると共に、施設運営全般に関わる相談・報告等を随時行い、密な協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	朝礼、業務ミーティングにおいて全スタッフに周知している。	身体拘束排除のマニュアルを整備し、職員の入社時に研修を行っている。また、ミーティング等の際に、話し合いを行い、職員全員へ身体拘束排除における意義の理解を促進している。玄関やユニット間の施錠は行わず、センサーチャイムを活用しながら安全確保をした上で入居者の自由を拘束しないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	決してあってはいけない事と認識しており、周知徹底している。		

【千葉県】ニチイケアセンター 河原塚

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	入社時の支店研修、開所時研修等で学び、成年後見制度を活用している入居者がいて支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	内覧時に説明すると共に契約時には個人情報取り扱いや入居者の尊厳、提供するサービス内容等を読み合わせ理解をいただいた上で同意を得よう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議を開催し意見交換を行っている。	家族の面会時や電話連絡時に直接意見・要望等を確認していると共に、運営推進会議においても意見交換を行っている。挙げた意見や要望に対しては、会議や連絡ノートを活用して職員全員に周知を図り、問題の早期解決と適切な対応に努めている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	業務ミーティングにおいて意見、提案を聞いて反映させている。	会議にて職員からの意見・提案等を確認すると共に、随時個別に対応して職員が意見を言いやすい職場作りに努めている。また、年間の研修計画を作成し毎月内部研修を行っている他、法人内研修にも参加して職員の育成を図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	出勤、退勤時には出来る限り声かけをし、話しを聞くように心がけている。常に問題意識がもてるよう働きかける。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務ミーティング・サービステクニカル研修の参加を推進している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	松戸市あんしん一声運動オレンジ声かけ隊に参加して、サービスの質の向上に努めている。		

【千葉県】ニチイケアセンター 河原塚

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の事前面接時にゆっくり時間をとり馴染みの関係を築けるように努め、入居時には面接に伺ったスタッフが迎え、安心できる環境を整えるように配慮している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	内覧、相談、事前面接を通し、信頼関係を築きあげて本心を聞きだせるよう努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族と本人の希望を確認した上で支援を見極めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれ得意なことを活かし、教えたり習ったりしながらスタッフと一緒にいることで、役割意識や生きがいにつながる関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人のホームでの暮らしの要望等をお聞きするようにしている。面会や行事への参加を通して一緒に過ごし、支えあえる関係を築いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの人の面会も可能な限り来てもらい、今までの生活を継続できるように支援に努めている。	入居者への面会や手紙等を随時受け入れて、馴染みの人との関係の継続を支援している。また、家族との外出や外泊も自由に行われ、家族との関係継続を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々入居者に対し、会話や声かけを多く働きかけ、利用者同士でも安心して支えあえる環境づくりの支援に努めている。		

【千葉県】ニチイケアセンター 河原塚

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	まだサービス終了した方はいないが必要に応じて相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個人の生活歴を職員で共有し、本人主体の生活を送れるようにコミュニケーションを図りながら信頼関係を築いている。	入居時に、本人や家族から身体状況・生活歴・意向等を確認すると共に、必要に応じて他事業所や医師からも情報提供を受け、詳細な情報の把握に努めている。入居後は、日々の生活や言動から本人の希望を汲み取るよう努め、本人本位の生活を支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方をアセスメントシートを利用して把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの一日の過ごし方等をアセスメントシート、介護記録にて現状把握に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や家族の要望を取り入れ、スタッフ間でカンファレンスを実施し、現状に即した介護計画を作成している。	入居者や家族の意向を踏まえた上で、会議にて検討し適切な介護計画の作成を行っている。定期的に目標の達成状況の確認や評価を行い、必要に応じて介護計画の見直しをしており、現状に即した介護計画の作成を行なっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	入居者別にケース記録をつけている。他にバイタル、排泄、食事摂取量、入浴等についても記録をとっている。特に気になる点等は連絡ノートを活用し、共有している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	業務ミーティング等でその時々生まれるニーズについて話し合い、対応を検討している。		

【千葉県】ニチイケアセンター 河原塚

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防訓練を行い安全に暮らしを楽しむことができるように支援している。また今後、地域資源を活用して、本人が力を発揮しながら暮らしていけるように支援致します。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	提携医療の主治医が入居者1名に対し、月2回往診に来てくれている。その際はスタッフが付き添い近況報告を行っている。また、体調の変化に応じ、随時適切な指示が得られ、安心できている。	協力病院を中心に適切な受診支援が行われていると共に、歯科医・皮膚科等の往診が実施されており、適切な医療支援も行われている。緊急時には協力病院と連携し、適切な対応を図れるよう体制を整えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在の所、職場内看護師、訪問看護師は居ない状況であるが近い内に訪問看護師が定期訪問出来るようにして行く。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	現在入院者がおり、病院関係者とご家族と相談に努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日々の健康状態を把握し、心身の状態に異変が見られた時は医療機関や家族とその都度連絡を取り合い、方針を共有している。	重度化した場合や終末期については入居時に家族への説明を行うと共に、意向等の確認を行っている。重度化した場合においては、家族や医師と相談して連携を図り、施設として出来る限り家族の意向に沿った支援行えるよう体制を整えている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	開所時研修や業務ミーティングで緊急時の対応等を勉強している。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	開所時研修や業務ミーティング等避難訓練を行っている。	開設時に職員のみで避難訓練を行い、避難経路・対応方法の確認を行っている。施設内には、消火器・スプリンクラー等が設置されており、非常時の対策が講じられている。	消防署立会いのもと、必ず夜間想定も含めた避難訓練を早急を実施して頂き、より一層の非常災害時・緊急時対策の強化に取り組んで頂くことを望みます。

【千葉県】ニチイケアセンター 河原塚

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳を守っている。特に既往症など個人情報取り扱いには充分の配慮を行っている。	接遇マナーやプライバシー保護に関するマニュアルが整備されており、職員全員が入社時に研修を受けている。職員は入居者への言葉使いに注意を払い適切な対応を行っている。また、個人情報は事務所で管理され、プライバシーの保護に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	主に自己決定してもらえるような声かけを心がけ、散歩への参加、おやつ飲み物等選ぶ場面を積極的に作っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを守りケアしている。起きる時間・食事時間も主のペースを守っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問理容を利用している。 本人の希望により行きつけの美容院へ行く方もいる。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	可能な方には積極的に参加してもらっている。 食器拭き・野菜皮むき・料理小分け等。	入居者の希望や能力に応じて調理や食事の準備・片付け等を共同で行っている。献立は法人の栄養士が行っており、栄養バランスに配慮した食事を提供している。入居者が使い慣れた馴染みの食器を使っていると共に、希望を取り入れたおやつや誕生会・敬老会等の行事メニューを提供し、食の楽しさを広げている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	極力水分は取ってもらっている。 食事摂取量にむらがある方には工夫をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に一人ひとりの口腔状態により口腔ケアの対応をしている。また、週1回訪問歯科に来てもらい、必要な治療を行っている。		

【千葉県】ニチイケアセンター 河原塚

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握するよう努めている。	排泄チェックリストを活用して一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、適切な声掛けや誘導で排泄の自立に向けた支援を行っている。夜間においても個々に合わせたトイレ誘導で、適切な排泄支援が行われている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	主治医と相談したり、飲食物の工夫や体を動かすように働きかけている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	毎日入浴希望を聞いている。	入浴は毎日実施されており、入居者の希望や体調に応じて回数・時間等、柔軟に対応している。浴室にはヒーター・呼出しブザー等が設置され安全面に配慮されていると共に、脱衣所はベンチやトイレ等が設置され使い易い工夫がなされている。入浴拒否に対しては、声掛けやタイミングの工夫で適切な対応を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人のペースに合わせて入眠を促している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋をいつでもすぐに見れる場所に置いてある。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意な事を援助しながら、生きがいや役割意識を持てるような支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩で外出の機会をもっている。	入居者の希望や体調に合わせて、毎日散歩等を実施し、戸外での楽しみを支援している。今後は、外出会や敷地内を活用した戸外活動を検討している。	

【千葉県】ニチイケアセンター 河原塚

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は個人では所持せず、事業所で管理している。本人の希望で買いたい物がある時は本人のお小遣いを使用して買物している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	随時対応している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに花を飾ったり、季節感を感じられる物を飾る等工夫している。	施設内はバリアフリーでエレベーターも設置されていると共に、十分な介助スペースが確保され、安全面に配慮した造りとなっている。共有空間には、テーブル・椅子・和室スペース等があると共に、廊下にも椅子を設置して、入居者が思い思いにくつろげるよう配慮されている。また、季節の飾りつけを行い、明るく楽しい雰囲気作りがなされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	落ち着く場所を把握したり、皆で楽しく過ごせる環境作りをしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた物を居室に置いてもらっている。	入居者の馴染みの物を持ち込むことが可能となっていると共に、好みに応じて畳や布団を使用する事も可能となっており、入居者の生活歴に合わせた居室作りがなされている。各居室には、エアコン・換気扇等が設置され、適切な空調管理がなされていると共に、鍵が設置されており、個々のプライバシーにも配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺等を活用し、なるべく安全に自力で生活できるよう支援している。		